

ス タ イ ナ ス
ス ジ ョ イ ナ ス

米「A」ベイト」日本展開

年内に2店オープン

TSIホールディングスグループのジャックの子会社、スタージョイナス（静岡市、松下英社長兼CEO）最高経営責任者は、米ロサンゼルス発祥のスニーカーとアパレル、玩具を中心に扱うセレクトショップ「BAIT」（ベイト）の日本

一人が手掛けており、パートナー契約を結んだ。11月にオープンする新しい渋谷パルコの5階に国内1号店を出し、12月には大阪・アメリカ村の路面に2号店を開く。出店に先駆けて日本語版のECサイトとアプリも立ち上げる。

米国内に9店を持つ。スポーツブランドのスニーカーのほか、アパレルでは仕入れ商品とアニメや漫画と協業するオリジナル商品などを扱う。玩具では、「ヘアブリック」のフィギュアなどを揃える。客層は10〜30代の男性が中心だ。

日本もスニーカー、アパレル、玩具を中心に仕入れとオリジナルの両軸で構成するが、日本独自の商品も揃える予定だ。



米国の「ベイト」の店内

元々ECからスタートした業態ということもあって、米国では売り上げの3〜4割をECが占める。日本も同様に、実店舗はカルチャを発信する場であり、消費者とのタッチポイントの一つと捉え、11月にローンチ予定のEC・アプリと連動した仕掛けで収益を上げる考え。アプリは米国では存在せず、日本独自となる。AR（拡張現実）などの技術を活用し、ユニークな買い物体験を提供する。

1号店の売り場面積は約190平方メートル、月商1500万〜2000万円を計画する。2号店は2層で売り場面積約260平方メートルになる予定だ。